

## 嶺南地域共創センター

# ニュースレター

### 新幹線開業を見据えた学生調査、小浜市長らに施策を提言

北陸新幹線の小浜・京都ルートの開業を見据え、本学の学生が8月18日から3日間にわたり小浜市で現地調査を実施し、最終日には小浜市長らを前に、現地調査で得られた情報を基にした地域課題の解決策を提案する報告会を開催しました。

この調査は、本学地域創生推進本部附属創生人材センターが、価値創造型PBL(問題解決型学習)の一環として行ったものです。「新幹線開通に伴う小浜市の発展可能性」と「観光客の消費行動・価値観を調べ販売促進戦略を考える」をテーマに、本学の学部・大学院生24名が参加し、小浜市役所職員による講義や意見交換、観光船「蘇洞門(そともめぐり)」の体験に加え、4つのグループに分かれ、市内の飲食店や観光客を対象にアンケート調査などを行いました。

最終日に行われた報告会では、学生から「地域住民や観光客は、外資やチェーン店などの新規参入と同時に、独自の『小浜らしさ』を求めている傾向がある」との分析結果を提示。その上で、具体的な解決策として、地産地消、地域雇用、景観配慮を条件とする“小浜パートナーシップ認定制度”の導入などを提案しました。

学生からの提案に対し小浜市役所職員からは、「私たちはどうしても主観的に考えてしまうが、客観的データに基づいた提案から多くの気づきを得られた。」「市の現状がよく分かり、今後の情報発信や、北陸新幹線開業に向けた施策を考えるきっかけになった」といった感想が寄せられました。

最後に小浜市長は、「今後も継続して調査をしていただき、とがった提案をしてもらえたら。」と述べ、今後の活動に期待を寄せられました。



学生活動調査の様子



小浜市長らに提案する様子

### 若狭町スマートエリア構想 モデル分譲地が完成、 未来のまちづくりへ新たな一歩

若狭町で進められている「スマートエリア構想」の中核事業である、JR上中駅前のモデル分譲地がこのほど完成し、9月20日(土)に記念式典が開催されました。町長や関係者、そして福井大学の関係者らが出席し、テープカットを行って新たなまちの門出を祝いました。

この分譲地は、単なる住宅地ではなく、町の持続可能な未来を具現化するモデル地区です。IoT技術が活用され、通学路に設置された見守りシステムや、災害時に自動で危険を知らせるスマートポールなど、住民の安全・安心を守る最新設備が整っています。式典で渡辺英朗町長は、「この分譲地が、子育て世代をはじめ多くの人々にとって魅力的な場所となり、町の活性化につながることを期待している」と挨拶しました。福井大学の野嶋慎二教授(工学系部門建築建設工学講座)と連携してデザインされた緑豊かな居住空間と、最先端技術が融合したこの分譲地の完成により、若狭町のスマートシティ化は大きな一歩を踏み出しました。

今後、分譲の開始とともに、新たなコミュニティが育っていくことが期待されます。



渡辺町長(中央)と関係者がテープカットを行う



野嶋教授(福井大学)が概要を説明

【発行・取材】福井大学 地域創生推進本部 附属嶺南地域共創センター

【敦賀サイト】〒914-0055 福井県敦賀市鉄輪町1-3-33 福井大学敦賀キャンパス内

【小浜サイト】〒917-0069 福井県小浜市小浜白鬚112 白鬚業務棟3階

ホームページはこちらから→

